

◆研究集会 (研究期間:平成28年4月1日-平成29年3月31日)  
 (全国の研究者が地震・火山関連分野のテーマについて集中的に討議する研究会)

No.	No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	開催予定日
1	2016-W-01	山田 真澄	京都大学・防災研究所	鶴岡 弘	地震のリアルタイムモニタリングと情報の利活用	平成29年1月上旬の2日間
2	2016-W-02	鈴木 雄治 郎	東京大学・地震研究所	鈴木 雄治 郎	火山現象のダイナミクス・素過程研究	平成28年10月～12月の2日間
3	2016-W-03	高橋 努	海洋研究開発機構・地震津波海域観測研究開発センター	古村 孝志	海洋－固体地球システムにおける波動現象と構造不均質性	平成28年9月の2日間
4	2016-W-04	西田 究	東京大学・地震研究所	小原 一成 佐竹 健治	Summer School on Earthquake Science 2016	平成28年7月以降
5	2016-W-05	佐藤 比呂 志	東京大学・地震研究所	佐藤 比呂 志 石山 達也	日本海・日本列島の地殻・マントル構造とその形成進化を探る	平成28年6月～7月
6	2016-W-06	山岡 耕春	名古屋大学・大学院環境学研究科	渡辺 俊樹 竹内 希 新谷 昌人	地球内部構造の観測・監視技術の未来	平成28年9月
7	2016-W-07	横尾 亮彦	京都大学・大学院理学研究科	中田 節也 前野 深	阿蘇山の噴火活動・マグマ水蒸気爆発を理解する	平成28年10月～11月に3日間
8	2016-W-08	廣瀬 仁	神戸大学・都市安全研究センター	小原 一成	スロー地震の発生メカニズムを探る：観測・調査・実験・理論・モデリングからの情報の統合化と巨大地震との関連性の解明を目指して	平成28年9月
9	2016-W-09	堀 高峰	海洋研究開発機構・地震津波海域観測研究開発センター	波多野 恭 弘	室内実験と数値実験から探る地震活動の物理	平成28年12月～平成29年3月の1日間
10	2016-W-10	鈴木 康弘	名古屋大学・減災連携研究センター	石山 達也	進化する地形・地質学的アプローチによる活断層・古地震像の構築と地震発生予測の高度化	平成28年11月